

コード No. 10415

**Anti-Human
CD20 (N) (4-6H:2C) Mouse IgG MoAb**

容量 : 100 µg

はじめに : リンパ腫の治療に用いられるリツキシマブは、汎 B 細胞マーカーである CD20 を標的とする抗体医薬です。CD20 分子の C 末部分は、リツキシマブとの結合において重要な役割を担うとの報告があり、C 末部分における遺伝子変異とリツキシマブ治療に対する抵抗性との関連が検討されています。
本抗体は、C 末部分の変異の有無にかかわらず広く CD20 分子を検出するため、CD20 の N 末部分を認識する抗体として新たに開発されました。本抗体による CD20 分子の検出は、CD20 分子のより詳細な検索に有用であると期待されます。

免疫抗原 : Human CD20 N 末部分合成ペプチド (CMQSGPKPLFRRMSS)

起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ
(P3U1 × BALB/c マウス脾臓細胞)

クローン名 : 4-6H:2C サブクラス : IgG3

精製方法 : Protein A 精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加 (この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2~8°C 保存 5 年間安定
溶解後 -20°C 保存 2 年間安定使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 約 1 µg/mL にて使用可能
ホルマリン固定、パラフィン包埋切片 (加熱による抗原賦活化処理が必要 : 10 mM Tris/1 mM EDTA 緩衝液, pH 9.0、煮沸 (100 °C) 10 分間または 95~97 °C 40 分間)
: ウェスタン・ブロッティング 約 1 µg/mL にて使用可能

参考文献 : 1. Mishima Y, Terui Y, Takeuchi K, Matsumoto-Mishima Y, Matsusaka S, Utsubo-Kuniyoshi R, Hatake K. The identification of irreversible rituximab-resistant lymphoma caused by CD20 gene mutations. Blood Cancer J. 2011 Apr;1(4):e15.

コード No. 10415

**Anti-Human
CD20 (N) (4-6H:2C) Mouse IgG MoAb**

容量 : 10 µg

はじめに : リンパ腫の治療に用いられるリツキシマブは、汎 B 細胞マーカーである CD20 を標的とする抗体医薬です。CD20 分子の C 末部分は、リツキシマブとの結合において重要な役割を担うとの報告があり、C 末部分における遺伝子変異とリツキシマブ治療に対する抵抗性との関連が検討されています。
本抗体は、C 末部分の変異の有無にかかわらず広く CD20 分子を検出するため、CD20 の N 末部分を認識する抗体として新たに開発されました。本抗体による CD20 分子の検出は、CD20 分子のより詳細な検索に有用であると期待されます。

免疫抗原 : Human CD20 N 末部分合成ペプチド (CMQSGPKPLFRRMSS)

起源 : マウス×マウス ハイブリドーマ
(P3U1 × BALB/c マウス脾臓細胞)

クローン名 : 4-6H:2C サブクラス : IgG3

精製方法 : Protein A 精製

包装形態 : 1 % BSA, 0.05 % NaN₃ 含有 PBS 0.1 mL に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 精製水 0.1 mL 添加 (この時濃度は 100 µg/mL となります)

保存方法及び安定性 : 2~8°C 保存 5 年間安定
溶解後 -20°C 保存 2 年間安定使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 約 1 µg/mL にて使用可能
ホルマリン固定、パラフィン包埋切片 (加熱による抗原賦活化処理が必要 : 10 mM Tris/1 mM EDTA 緩衝液, pH 9.0、煮沸 (100 °C) 10 分間または 95~97 °C 40 分間)
: ウェスタン・ブロッティング 約 1 µg/mL にて使用可能

参考文献 : 1. Mishima Y, Terui Y, Takeuchi K, Matsumoto-Mishima Y, Matsusaka S, Utsubo-Kuniyoshi R, Hatake K. The identification of irreversible rituximab-resistant lymphoma caused by CD20 gene mutations. Blood Cancer J. 2011 Apr;1(4):e15.